

HOT INFORMATION ABOUT

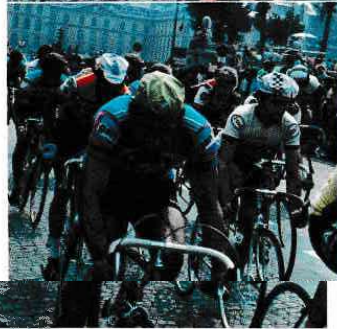
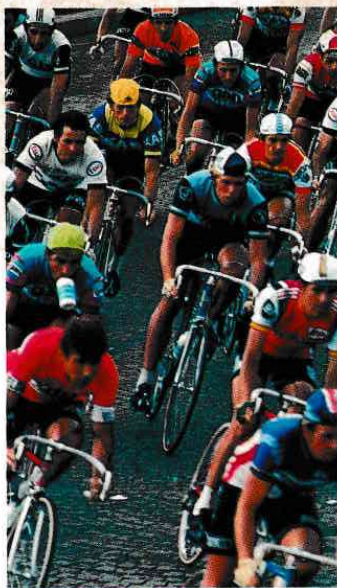
ホバークラフト・レーシング

陸上でも水上でも、その浮力を利用して走りまわる乗物“ホバークラフト”を使ったレースが、このところ人気上昇のようです。

海岸の砂地からスタートし、海上を駆けぬげたり、また沼地でのレースなど、変化に富んだレースが展開されているようです。

もともと英国生まれだけあって、英国でのレースがさかんなようです。地上速度は約60km/hですが、水上では100km/hを越すスピードで、このホバークラフトは走ります。

荒れた波のおしよせる海上でのレースは、かなりスリリングなもので、新しいタイプのスポーツとして注目されています。水と陸を自由に乗りまわせるこの乗物、冬期は雪原でのレースが展開されるとか、まさにマルチ・プレーヤーといったところですね。



ミラノ・コレクション

今、世界のファッション・シーンをリードしているのは、イタリア北部の町ミラノです。パリ・プレタポルテの時代へと変わったのです。

もともと染織の発展していた、イタリア北部地方の中心地、ミラノには、そうした技術をベースに、若いデザイナーが、ミラノ・グループを形成し、一種の共同戦線を張って世界のモードを変えはじめたわけです。

筆頭格のミッソーニをはじめ、ここに紹介するジョルジョ・アルマーニや、ジャンニ・ペルサーチェなどの、有能なデザイナーたちの作品は、どれもがモダンで、しかも着やすいものばかりです。

ジョルジョ・アルマーニは、メンズ・モードの常識を、どんどんと変えつつあります。ジャンプスーツとジャケットを組み合わせたり、またスーツの下にTシャツ一枚のコーディネートだとか、とにかくコレクションのたびに話題を提供しているわけです。

写真のジャケットは、2つボタンのダブル・ブレスト、とてもポイントが低い、スマートなデザインですね。ネクタイの巾も細くなり、ジャケットのポケットは、張出したパターンです。素材もナチュラルな感覚の木綿、麻、ローシルクなどで、色彩柄にも見事に統一されていて、これは他のデザイナーの作品とも共通していて、同時期のコレクションなら、別のブランド同志でも、ちゃんとコーディネートできるのは、さすが！という他ありませんね。

ミラノの服には、若々しさがありません。そして作りもしっかりしていて、いい物を着ている感激を与えてくれます。アルマーニの新作は、そでが取りはずせるシャツ。こんなとんでもないアイデアも、彼の手にかかると、すごくよいイメージになってしまうのです。

色はこのところ、枯れたアース・カラーが主力で、渋さと若々しさが、実にうまく調和しているわけですね。

写真の製品は、資生堂ザ・ギンザ4Fで入れることができます。

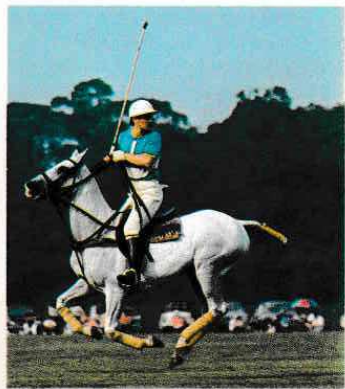


ポロ

ポロの紀元は古く、モンゴル平原でのアクバ大帝時代からとか、ブルジャ紀元説とかがあります。ペルシャのミアチュール画にもこの勇猛なスポーツが描かれており、ともかく古くからつたえられたスポーツなのです。

縦275m、横183mのグラウンドで、各チーム4名ずつのプレイヤーが戦います。アッシュ材のスティックで、たった8.3cmしかないボールを打つ。しかも駆けている馬の背にまたがってのプレイですから、テクニックはもとより、馬と人間の呼吸が合わないと、どうにもなりません。

チャッカスとよばれる1ピリオドが7分、それを8チャッカス、56分間を、この8人のプレイヤーが、それぞれのゴール・ポストめがけて突進するさまは、まさに雄大。太平洋の勇者たちが考えただけあって、迫力とスリルの連続です。ゴール・ポストの巾は7.32m高さ3.05mで、それこそつれあうようにしてゴールへ人馬が突進するのです。



トワール・ド・フランス

ヨーロッパ・スポーツの花形は、なんといってもこの、自転車競技でしょう。多くのレースが毎年開催されますが、なかでもフランス一周レースである“トワール・ド・フランス”の人気はすごいのです。初夏になるとさまざまな下馬評がとびかき、カフェのテーブルやカウンターで、今年の優勝者のうわさごとびかき、やがて7日のスタートともなると、フランス中がレースの進みぐあいに湧きかえるのです。

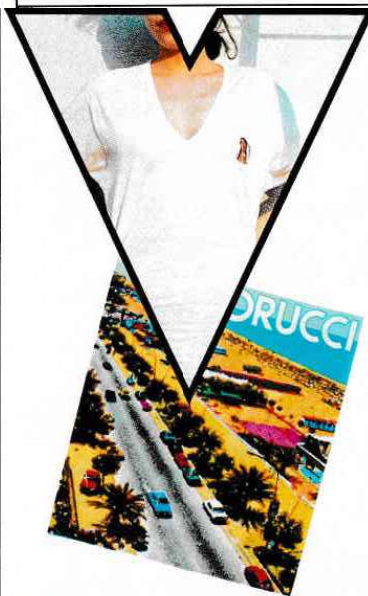
なんとこのレース、約40日間もかけて、フランス各地を走り廻るといって、大がかりなもので、ちょうどヴァカンスのシーズンでもあり、熱心なファンは、レースの通る地方へと車で行きついでます。

途中の町で、タイム・トライアル・レースをしたり、また、取戻た坂のアルプスや、ピレネー越えの難所ありで、かなりレース展開は変化に富んでいます。

この競技に勝つことが、その自転車の優秀さを示すことになるので、ブジョー、ジャン、メルジェなどのフランス・モーム・ラーレーの英国チーム、また格好の宣伝というわけで多くの食品メーカーなどがスポンサーとなっており、このお祭さわざもあげます。

優勝者には“マイヨー・ジョーン”という黄色いシャツと、多額の賞金が与えられ、彼は時代の英雄となれるわけです。

一昨年ベルギーの若者、ヴァン・インブが優勝をさらった時、ベルギー人は大さわざ。ただフランスだけではなく、イギリス、イタリア、ベルギーなどから、この栄光ある黄色のシャツ“マイヨー・ジョーン”をねらって脚に自信のある選手たちがエントリーするのです。イタリア開催の“ジロ・デ・イタリア”とともに、世界最大の自転車競技も、ヨーロッパ遊行のひとつの見物でしょう。



VネックTシャツが この夏のホット・アイテム

ミラノのフィオルッチ、いや今やインターナショナルなブランドになった、このフィオルッチが、'78年の夏はこれ！といっているのが、VネックのTシャツです。

フィオルッチおとくいの、ワンポイント・プリントが胸もとをかざるこのTシャツ、春先から、ファッション人間たちの注目をあびていました。エンゼル、ジェット機、インディアンなどの小さなプリントが、アンダーウェア臭さを、完全になくしています。

女の子が着ると、胸もとがとてもしゃべりに見えます。男だって負けてはいられません。麻のジャケットと組み合わせたり、おもしろい陽に焼けた肌にも、真白のVネック一枚で、この夏をおもしろく楽しみましょう。

FRIEND SHIP

招待状

ヨーロッパでは、お客をまねく時に、ちょっとしたインヴィテーション・カードを送ります。そのため、ステーションナリー・ショップには、良質のカードや封筒のたぐいが実に豊富にそろえられています。

伝統的にイギリス製の物が最も良く、紙も色づかいにも、デリケートな神経がいきどまっているようです。写真のレター・パックとエンブレムは、イギリスのもので、各12あり、さまざまな色の組み合わせができるのです。右上の円筒形のは、中にインヴィテーション・カードを入れて切手をはり、そのまま郵送できるもの。あまりにせっかちな招待するにも電話万能のこの時代、ときに一杯飲み友達をさそうために、立派な招待状を送ってみたらどうでしょう。

